

## 令和5年度 大垣市文化事業団事業報告

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

大垣市文化事業団は、市の文化創造に寄与することをめざし、魅力ある事業の実施や適切な施設管理に努めている。令和5年度も引き続き、(1)優れた文化芸術の提供、(2)地域における文化芸術の継承と活動支援、(3)文化芸術人財の育成を3つの柱とし、事業を推進した。

自主事業の音楽分野では、質の高いトップレベルのコンサートとして、小林愛実ピアノリサイタル、綾戸智恵ジャズライブの2公演を実施した。また、市民団体の活動を支援するため、企画を公募して上演するホール応援プロジェクトを2公演実施するとともに、ピアノの仕組みを学ぶワークショップを実施した。

美術分野では、親子で参加できる宝石せっけん作りのワークショップなど3事業を実施し、美術への関心が広がるよう努めた。文芸その他の分野では、水の都おおがき短編小説コンクールを継続するとともに、地元企業と連携したSDGs美術ワークショップと、郷土への理解を深める船町川湊跡を歩く体験事業を実施した。

なお、市民会館の閉館にあたり、ソナーポケット&大野雄大と石井竜也によるファイナルコンサートを2公演実施した。ともに著名なアーティストであり、多くの来場者で賑わう満足度の高い公演となった。その他市民会館ホール・モザイク壁画の公開や、SDGsを念頭にアサガオの種配布を行った。

受託事業では、大垣音楽祭および大垣市芸術祭を継続開催し、市民文化発展の一翼を担った。また、日本国際ポスター美術館と連携し、女性デザイナーをテーマにポスター展2023を開催した。

指定管理事業の音楽・舞台分野では、トップレベルの公演として、辻彩奈ヴァイオリンリサイタル、親子で楽しめるこんにやく座のオペラ、野村萬斎・狂言の会、大垣出身の友麻亜里を招いた芝居と歌が楽しめるコンサートの4事業を実施した。また、夏休みに親子で鑑賞・参加できる事業として、NHKワンワンとあそぼうショー、食器などの日用品で演奏を行う音楽ユニット・Kajiiのコンサート、アキラボーイとタヌキチくんのデジタルショー、その他音楽・舞台ワークショップを2事業実施した。

美術分野では、日本画家・土屋禮一の展覧会を開催するとともに、大垣市が所蔵する作品の展示を行い、郷土の美術品に親しむ機会を提供した。また、親子で楽しめる企画展として、ハローキティのワンダーランド展、ウルトラ空想特撮ワールド展を開催した。

科学分野では、施設を有効活用し、プラネタライブ・秋の星空コンサートを上演した。また、おもしろ科学教室、市民天体教室、市内企業と連携した科学大好きセミナーを継続開催し、こどもたちが科学の世界を体験的に学べる機会を提供した。その他アートギャラリー前のパブリックスペースに化石を展示したり、夏休み期間中に化石の発掘体験ができるコーナーを設けるなど、来館者の満足度向上を目指した施設運営を行った。

文化会館・学習館の施設管理面では、立体駐車場の塗装改修工事、学習館南棟およびサイエンスプラザの外壁工事など利用者に影響の及ぶ大規模工事が続いた。このため利用者への周知、安全性に従来以上の配慮を行う施設運営に努めた。

また、大垣市との共創事業スイトピアテラスで交流の場の創出を図ると共に、夏期には学習コーナーの設置や、図書コーナーの充実など、市民の憩いの場づくりにも取り組んだ。

令和5年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業実施状況一覧

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業			
自主事業	創造都市	音楽	① プライムコンサート2023「小林愛実ピアノリサイタル」
			② プライムコンサート2023「綾戸智恵ジャズライブ」
			③ ホール応援プロジェクト（共催事業）
		美術	④ 美術WS①「宝石せっけんを作ろう」
			⑤ 美術WS②「飾りすだれを作ろう」
			⑥ 美術WS③「薄葉紙を使ったお正月飾り」
		文芸	⑦ 中村航・水の都おおがき短編小説コンクール
		その他	⑧ SDGs美術WS「アクションペインティングに挑戦しよう」
			⑨ 大垣船町川湊跡を歩く
		市民会館	⑩ The semi-final LIVE「ソナーポケット／大野雄大」
			⑪ The final「石井竜也コンサート」
			⑫ モザイク壁画公開
社会包摂	市民会館	音楽	① スタインウェイ&ベーゼンドルファー ピアノ演奏体験
		② アサガオ・ヒマワリの種の配布	
受託事業	都創 市造 社会包摂	音楽	① 2023大垣音楽祭
		美術	① ポスター展2023 ② 大垣市芸術祭（美術展、文芸祭ほか6事業）
公益目的事業	指定管理事業	音楽	① プライムコンサート2023「辻彩奈ヴァイオリンリサイタル」
			② こんにやく座オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」
		舞台	③ 野村萬斎 狂言の会
			④ 友麻亜里と愉快的仲間たち
		美術	⑤ 土屋禮一展「有由有縁」
			⑥ 大垣市コレクション展「ふるさとのイロ・思い出のカタチ」
		科学	⑦ プラネタライブ
			⑧ 市民天体教室
			⑨ おもしろ科学教室（全12回）
			⑩ 水のパビリオン活性化事業
			⑪ コスモドーム・サイエンスプラザ常設展
			⑫ 科学大好きセミナー（全6回）
			⑬ わくわく科学体験事業
			⑭ パブリックスペース活用事業
	社会包摂	音楽	① ワンワンとあそぼうショー
			② さ・ま〜kajiiコンサート
			③ 音楽WS「ピアノを解体してみよう 調律体験」
		舞台	④ 舞台WS「舞台体験 バックステージツアー」
			⑤ アキラボーイとタヌキちゃんのデジタルショー
		美術	⑥ 春季企画展「ハローキティのワンダーランド」
			⑦ 夏季企画展「ウルトラ空想特撮ワールド」
	学習館科学施設 運営事業	① こどもサイエンスプラザの運営事業	
		② コスモドームの運営事業	
③ 水のパビリオン運営事業			
公益目的事業の貸館事業			
収益目的事業	(収1) 公益目的事業以外の貸館事業		
	(収2) 専用駐車場の管理運営事業		
	(他1) スイトピア友の会事業		

令和5年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業別実施報告書

<公益目的事業>

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業

1. 自主事業

1-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	プライムコンサート2023 「小林愛実ピアノリサイタル」 ◇令和5年12月2日(土) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 571人	第18回ショパン国際ピアノコンクール第4位を獲得したピアニスト小林愛実によるリサイタルを開催した。プログラムには、コンクールで演奏した曲も含まれ、世界で認められた演奏を楽しむ機会となった。同じくショパンコンクールで第2位を獲得したピアニスト反田恭平との結婚・出産など話題になったこともあり、チケットは完売し、当日も満席となった。
	プライムコンサート2023 「綾戸智恵ジャズライブ」 ◇令和6年1月21日(日) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 546人	ジャズシンガーとして著名な綾戸智恵のライブを開催した。持ち前の明るいキャラクターと、パワフルな歌声で会場は大いに盛り上がった。自身の介護経験や、コロナウィルスに関する話題など、時事を織り交ぜたトークも展開した。活動休止期間があったため、今回のライブを楽しみにしていたという声が多く聞かれた。発売開始1カ月程度で完売した。
	ホール応援プロジェクト ①「平田歩ピアノソロリサイタル」 ◇令和5年11月18日(土) ◇スイトピアセンター 音楽堂 ◇入場者数 114人 ②「さんしろう絵本ライブWITHさんしろうBAND」 ◇令和5年11月19日(日) ◇スイトピアセンター 音楽堂 ◇入場者数 112人	大きなホールで公演したい、活動の幅を広げたいという団体・個人を募集し、合計6件の応募のうち、採択された2件の公演を実施した。 ①各務原市出身のピアニスト平田歩によるピアノリサイタルを実施。モーツァルト、ショパン、プロコフィエフのピアノ曲を披露した。 ②岐阜市の絵本店「おおきな木」の店主である杉山三四郎と、仲間による絵本ライブを実施。スクリーンに絵本の場面を投影しながら、お話しに合わせて歌と演奏をした。手遊びなど、客席の子どもたちとのやりとりを交えた公演。
美術事業	美術ワークショップ① 「宝石せっけんを作ろう」 ◇令和5年8月4日(金)・5日(土) ◇スイトピアセンター 料理実習室 ◇参加者数 31組75人(3回)	子どもも大人も、美術を身近に感じられる体験を通して、自由な発想力を養う機会とするもの。色の混ぜ方や固形にしていく過程をイメージしながら、宝石のようにキラキラした石けんを手作りする楽しさを体験した。 1次申込により定員に達したが、予想を上回る応募のため、市民サービスの観点から急遽定員と回数を増やして実施した。 (作品展: 8月5日~12日、7日間)
	美術ワークショップ② 「飾りすだれを作ろう」 ◇令和5年7月2日(日) ◇スイトピアセンター 創作実習室 ◇参加者数 3組7人	スイトピアセンターの敷地内の管理をする中で、普段は処分されてしまう伐採枝を材料に、小さなすだれを作って、飾り付けをするワークショップ。身近な廃材を大切なものとして有効活用できるという提案を行い、SDGsへの取組みに繋げ、作品制作を通して創造性を養うとともに、アートを楽しむ場を提供するもの。 SDGsに関心はあるものの、子ども向けワークショップとしては、難しいと感じられたようであった。 (記録展示: 令和5年7月15日~31日、14日間)
	美術ワークショップ③ 「薄葉紙(うすようし)を使ったお正月飾り」 ◇令和5年12月16日(土) ◇スイトピアセンター 創作実習室 ◇参加者数 11組18人	実際の美術展示で使用する薄葉紙の活用を通して、展示の裏側から美術文化への関心を高めることを目的としたワークショップ。薄葉紙をひも状にして縄形の土台を作り、しめ飾り風のお正月飾りを作った。敷地内の植物や協力企業提供の廃材を使用し、SDGsの取組みにも繋げた。小学生~70代の幅広い世代の参加があり、大人の参加者にとっては子どもの感性から刺激を受ける機会となった。 (記録展示: 令和5年12月23日~令和6年1月14日、14日間) 協力: オイダ額縁株式会社

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
文芸事業	中村航・水の都おおがき短編小説コンクール ◇応募総数 52点 ◇入賞者数 3人 ①事前講座「小説ワークショップ」 ◇令和5年5月27日(土)・28日(日) ◇スイトピアセンター スイトピアホール ◇参加者数 18人 ②表彰式 ◇令和6年2月23日(金・祝) ◇スイトピアセンター 会議室4 ◇参加者数 3人	水の都おおがきに関する短編小説を募集し、上位3賞を表彰した。事前講座では、入門的な小説の書き方を学び、表彰式後に、審査員長と2名の審査員、入賞者3名による交流会を開催した。
	SDGs 美術ワークショップ 「アクションペインティングに挑戦しよう」 ◇令和5年6月3日(土) ◇スイトピアセンター 創作実習室 ◇参加者数 15組30人	昨年度、好評であったアクションペインティングワークショップを継続し、廃材として捨てられてしまう大きなロール紙をキャンバスにドリッピングやスパッタリング、スタンプングなど、身体を使った動きと偶然性によって生まれる作品の制作を楽しむワークショップとして開催。廃材を活用することで、SDGsへの興味関心を高めるきっかけづくりの場となった。 (作品展示：6月10日～25日、14日間) 協力：サンメッセ株式会社
その他事業	大垣船町川湊跡を歩く ◇令和5年7月8日(土) ◇住吉燈台および船町湊跡周辺 ◇参加者数 20人	古い絵図等を参考にしながら、湊町「大垣」のシンボル「住吉燈台」周辺を探索した。これまでに紹介されてこなかった情報やエピソードを盛り込んだ案内と解説に努めた。
	大垣市民会館 The semi-final LIVE 「ソナーポケット／大野雄大」 ◇令和6年3月2日(土) ◇大垣市民会館 ホール ◇入場者数 1,025人	大垣市民会館の閉館にともない、著名アーティストによるコンサートを開催し、華やかなフィナーレを飾るとともに、これまでの感謝とお別れの意を表するものとした。主に若者世代を対象とし、市民会館の記憶と思い出づくりの場を設けた。 10～20代を集めた大野雄大、30～40代を集めたソナーポケットが、次に続く50代以上を対象とした石井竜也のファイナル公演にバトンを繋いだ。
市民会館事業	大垣市民会館 The final 「石井竜也コンサート」 ◇令和6年3月23日(土) ◇大垣市民会館 ホール ◇入場者数 1,333人	大垣市民会館の閉館にともない、著名アーティストによるコンサートを開催し、華やかなフィナーレを飾るとともに、これまでの感謝とお別れの意を表するものとした。主にミドル、シニア世代を対象とし、市民会館の設立当時を懐かしみながら楽しめる場を設けた。 プログラムには別れをテーマにした曲を多く採り入れ、満員の来場者とともに、最後の幕を閉じた。
	モザイク壁画公開 ◇令和5年8月31日(木)～9月10日(日) ◇大垣市民会館 ホール・ホワイエ ◇入場者数 14人	ホール棟ホワイエにある大垣出身の洋画家・矢橋六郎によるモザイク壁画「花の如くに」を一般公開した。

1-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	<p>スタインウェイ&amp;ベーゼンドルファー演奏体験</p> <p>◇令和5年8月2日(水)～4日(金)</p> <p>◇スイトピアセンター 音楽堂</p> <p>◇入場者数 30組51人</p>	<p>音楽堂に常設のスタインウェイとベーゼンドルファーを40分間貸し切りで、演奏体験をする事業。2台の弾き比べをしたり、仲間同士で撮影しながらの演奏など、参加者が思い思いにピアノと、音楽堂の空間を楽しむことができた。</p>
その他事業	<p>アサガオ・ヒマワリの種の配布</p> <p>◇令和5年4月</p> <p>◇配布数 1,000セット</p>	<p>市民会館で育てたアサガオ・グリーンカーテンの種を採取し、広く市民に配布した。配布開始と同時に多くの来館者が窓口を訪れた。</p>
事業経費		38,866,854円
諸経費		4,324,272円(人件費)
総費用額		43,191,126円
事業収益額		21,578,250円
総収入額		22,638,537円(基本財産運用益・雑収益含)

2. 受託事業

2-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
<p>2023大垣音楽祭</p> <p>◇令和5年4月2日(日)～5月21日(日)</p> <p>◇スイトピアセンター 音楽堂・文化ホール</p> <p>◇入場者数 3,191人</p> <p>音楽事業</p>	<p>合唱や吹奏楽など地域で活躍する演奏家や音楽団体が演奏会を開催するとともに、プロとの共演などを通して、大垣市の芸術文化の振興を図るもの。</p> <p>市民団体による14公演および、プロと地元演奏家の共演するスプリングコンサート1公演の計15公演を開催した。</p> <p>4月 2日(日) 大垣少年少女合唱団</p> <p>4月 8日(土) 合唱団OMC</p> <p>4月 9日(日) マリンバアンサンブル4 hearts</p> <p>4月15日(土) コール・ペアーレ</p> <p>4月16日(日) The ACT ピアノデュオ</p> <p>4月23日(日) 大垣市吹奏楽団</p> <p>4月29日(土・祝) 音楽教室アマービレ</p> <p>4月30日(日) 大垣プラスカンパニー</p> <p>5月 3日(水・祝) 大垣グリークラブ</p> <p>5月 4日(木・祝) 音楽の風にのって(出演2団体)</p> <p>5月 7日(日) Smile スマイル(出演2団体)</p> <p>5月 7日(日) シンガーズクラブ ミューズ</p> <p>5月14日(日) いつも青春コンサート(出演3団体)</p> <p>5月20日(土) 音楽を愛する仲間たち</p> <p>5月21日(日) スプリングコンサート 「コンチェルト・アリアへの誘い」 (中部フィルハーモニー交響楽団)</p>
<p>2024大垣音楽祭 準備</p>	<p>令和6年度に開催する「2024大垣音楽祭」の準備</p>

2-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
美術事業	ポスター展2023 「世界の女性ポスターデザイナー」 ◇令和5年5月27日(土)～6月25日(日) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 1,237人	日本国際ポスター美術館の協力を得、女性デザイナーに焦点をあて、多様な表現のポスター作品を紹介した。SDGsやダイバーシティなど多様性が重視される中、「女性らしさ」にとらわれない、鮮やかな色、力強く、大胆に表現された女性デザイナー31名のポスター128点を展示した。 過去最大の展示数で、デザイン関係の学生やデザインに興味のある方など県内外から来場があった。
芸術祭事業	大垣市芸術祭 ◇令和5年10月14日(土) ～12月3日(日) ◇スイトピアセンター 文化ホール、音楽堂、 展示室 ◇入場者数 28,045人  (美術展出品数 11,418点)  (文芸祭出品数 1,776点)	各種市民団体の成果発表の場として開催するもの。洋楽、邦楽・邦舞、洋舞、拓本展、市民茶会の6つの市民団体事業と、市美術展と市文芸祭の2つの公募展を実施した。  第68回洋楽 10月28日(土)、29日(日) 第67回邦楽・邦舞 11月4日(土)、5日(日) 第68回洋舞 11月19日(日) 第33回拓本展 10月28日(土)、29日(日) 第50回名石展 10月28日(土)、29日(日) 第53回市民茶会 11月5日(日) 第72回大垣市美術展 一般の部 10月14日(土)～22日(日) 青年の部 11月3日(金・祝)～12日(日) 幼少年の部 11月18日(土)～26日(日) 第62回大垣市文芸祭 11月26日(日)～12月3日(日)
事業経費		11,508,119円
諸経費		11,050,917円(人件費)
総費用額		22,559,036円
総収入額		22,503,700円(雑収益を含む)



3. 指定管理事業

3-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
<p>音楽事業</p> <p>プライムコンサート2023 「辻彩奈ヴァイオリンリサイタル」 ◇令和6年2月10日(土) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 428人</p>	<p>大垣市出身で、モンテリオール音楽コンクール優勝経験のあるヴァイオリニスト辻彩奈によるリサイタルを実施。ピアニストの萩原麻未との共演で、2人の息がぴったりと合った若々しくエネルギッシュな演奏を楽しむことができ、好評だった。</p>
<p>こんにやく座オペラ 「ルドルフとイッパイアッテナ」 ◇令和5年9月17日(日) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 318人</p>	<p>今なお多くの人に愛される、岐阜県を舞台にした児童絵本「ルドルフとイッパイアッテナ」。オペラ初心者でも楽しめる演目であり、入場者からは好評であった。</p>
<p>舞台事業</p> <p>野村萬斎 狂言の会 ◇令和5年7月13日(木) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 566人</p>	<p>日本の伝統芸能である狂言に触れる機会を提供するとともに、著名な役者によるトップレベルの舞台を広く市民に届けるもの。 狂言を初めて鑑賞する来場者にもお楽しみいただけるよう、解説の時間を入れ、分かりやすい内容として上演した。</p>
<p>友麻亜里と愉快的仲間たち ◇令和5年9月2日(土) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 218人</p>	<p>落語と芝居とコンサートの3つのジャンルが楽しめる公演を実施。出演は大垣市出身で親善大使を務める友麻亜里ほか。内容の一部に、令和4年度事業で募集した「大垣ゆかりの思い出エピソード」を盛り込み、好評であった。 出演者を知る市内からの来場者も多く、あたたかな雰囲気の会場となった。</p>
<p>美術事業</p> <p>土屋禮一展「有由有縁」 ◇令和5年9月23日(土・祝)～11月26日(日) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 1,432人 うちアーティストトーク130人 ◇関連事業参加者数 作品鑑賞会7人、墨体験ワークショップ49人</p>	<p>郷土ゆかりの日本画家、土屋禮一の個展を開催し、広く美術に親しむ機会と地域の文化芸術の振興を図るもの。アートギャラリーでは、過去2回個展を開催。11年ぶりとなる本展では、近年の日展出品作を中心に初公開作品を含む計40点を展示した。 地域の方だけでなく、県内外の美術・芸術施設関係者の来館が多数あり、ゆっくりと鑑賞された。特に初日のアーティスト・トークは、大変好評であった。関連事業では、本展や美術・日本画への興味を抱くきっかけづくりを行った。</p>
<p>大垣市コレクション展 「ふるさとのイロ・思い出のカタチ」 ◇令和6年1月20日(土)～3月20日(水・祝) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 2,422人 ◇関連事業参加者数 作品鑑賞会10人</p>	<p>市の所蔵品の中から、「ふるさと」や「思い出」をテーマとした風景画やまちが描かれた作品等を紹介し、美術作品に親しむ機会を通して、地域の文化芸術振興を図るもの。あわせて、令和4年度に募集した市民の思い出エピソードの再紹介と、関連する美術作品の紹介を行った。 過去最大級の展示数で、時代や分野等も幅広く紹介し、入場無料であったことで、気軽に鑑賞いただけた。リピーターの方や、親子連れ、外国の方が鑑賞する姿もみられた。</p>
<p>科学事業</p> <p>プラネタライブ(全1回) ◇スイトピアセンター コスモドーム ◇入場者数 (131人) ①令和5年11月11日(土) 秋の星空コンサート 八巻枝美&amp;片桐一篤</p>	<p>プラネタリウムを有効活用し、宇宙科学を身近に楽しめる事業を開催した。 両者ともに今回が初めての出演だったが、チラシまたは新聞社・広報誌によるPRの甲斐があってチケットが完売した。コンサートには未就学児から高齢者まで幅広い年齢層が参加した。 アンケートは、星空を眺めながらJAZZピアノの演奏とナレーションを楽しむ点がとても良かったなど好評をいただいた。</p>

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
市民天体教室 (夜) 計12回実施 (昼) 計66回実施 ◇こどもサイエンスプラザ4階天体観測室 ◇参加者数 延1709人 (夜) 延344人 (定員各30人) (昼) 延1365人	昼の天体観測では、天体望遠鏡で多くの方に黒点やプロミネンスを見ていただいた。家族全員で参加される方や、観測を楽しむお子さんの写真を撮られる保護者の方も多かった。 夜の市民天体教室では、どの月も応募開始から数日で完売し、予約段階では満席となった。月をまたいだリピーターも多く、老若男女を問わず多くの方にご参加いただいた。
おもしろ科学教室 ◇年12回(令和5年5月～12月 日曜日) ◇こどもサイエンスプラザ2階工作室、 ◇参加者数 延278人 (定員各20人、24人)	科学的な原理について実験などを通して学び、科学教育増進の一環とした。毎回、モデル等を使って演示実験等を行ったり、製作物のしくみを分かりやすく解説したりすることで、参加者の意欲を高め、科学の見方・考え方の向上につなげた。 最近では、低学年の参加が多く、自ずと保護者同伴となり親子一体型の教室となりつつある。
水のバビリオン活性化事業 ◇令和5年4月1日～令和6年3月31日 ◇スイトピアセンター 水のバビリオン ◇入場者数 117,884人	ずかんくんとのコラボレーションにより、水槽前でイラストと魚の両方が楽しめる仕様となった。新聞などメディアで紹介された効果もあって、来館者が水槽を写真撮影する様子も見られた。 野鳥の会による展示では、夏休み期間中、カブトムシからタマムシまで幅広い種類の生体が並び、好評を博した。
コスモドームギャラリー ・こどもサイエンスプラザ常設展 ◇令和5年4月1日～令和6年3月31日 ◇コスモドームホワイエ ・こどもサイエンスプラザ1階 ◇入場者数 155,780人	コスモドームギャラリーでは、主にコスモドーム上映や市民天体教室の開始前に観覧できる展示となっている。今年度からパネルの位置を大幅に下げ、子ども目線の低い位置に展示するよう変更した結果、大人から子どもまで幅広い年代の来館者が楽しむ姿が見られた。 ドーム前モニターでは「今月の天文現象」と称して、月の満ち欠けや流星群のタイミングをカレンダー形式で表す動画を流した。 こどもサイエンスプラザでは、SLマニアの方や列車好きの親子が写真を撮る姿がみられた。
科学大好きセミナー(全6回) ◇スイトピアセンター 創作実習室 こどもサイエンスプラザ工作室 ◇参加者数 延234人 ①カブトムシ博士になろう ◇令和5年5月14日(日)  ②月の謎に迫る! ◇令和5年6月17日(土)  ③電子オルゴールを作ろう! ◇令和5年7月27日(木)  ④ようこそ、極低温の世界へ ◇令和5年7月30日(日)  ⑤犯人を捜せ!君も科学捜査員 ◇令和5年8月23日(水)  ⑥自作プロペラで風をエネルギーに ◇令和5年8月25日(金)	市内企業の協力を得て、未来を担う子どもたちに多彩な学習体験の機会を提供するもの。  ①植倉造園による「カブトムシ博士になろう」を実施した。家庭で飼育できるよう、虫かごにカブトムシの棲み処を作った。  ②JAXA職員による月に関する講演をプロジェクターの映像を交えて聞いた。親子で参加できるクイズを盛り込み、低学年でも楽しめた。  ③株式会社村田製作所による「電子オルゴールを作ろう!」を実施した。太陽電池を使ったオルゴールを作り、エネルギーについて学んだ。  ④大洋化学工業株式会社・株式会社大合商会による「ようこそ極低温の世界へ」を実施した。液体窒素で、花が凍る実験をしたり、雲ができる現象を体験した。  ⑤イビデンエンジニアリング株式会社による「犯人を見つける」教室。指紋の検出や、土砂粒、血液反応(模擬)などから、犯人を特定する体験をした。  ⑥太平洋工業株式会社によるペットボトルを使った「風力発電」教室。自作のプロペラで発電した電気を蓄え、自動車レースを体験した。

科学事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
科学事業	わくわく科学体験事業 化石発掘体験 ◇令和5年7月15日(土)～8月20日(日) 内、16日間 ◇学習館ラウンジ ◇参加者数 延1,085人	大きな石からハンマーなどを使って化石を発掘する体験事業。アンモナイトの掘り出しや、ジオード割・ノジュール割を体験した。体験中に、化石の解説や質問コーナーを設け、子ども達が化石に興味関心を持つ場を提供した。
	パブリックスペース活用事業 小さな化石展 ◇令和5年7月15日(土)～8月31日(木) ◇アートギャラリー前通路 ◇入場者数 26,561人	アートギャラリー前通路に本物の化石を展示。本物のアンモナイトや三葉虫の化石に触れる体験型展示を実施した。 また、化石研究者・小野輝雄氏による展示作品の解説も随時開催した。

### 3-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	ワンワンとあそぼうショー ◇令和5年7月1日(土) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 1,131人(2公演計)	新型コロナウイルス感染症による多大な影響を受けた市民に向け、「入場無料(抽選)」として実施。 2公演あわせての定員1,162人に対し、市内外から6,000人超えの応募があった。公演当日はほぼ満席に近い状態で、親子連れの楽しそうな顔が多くみられた。
	さ・ま～k a j i iコンサート ◇令和5年8月19日(土) ◇スイトピアセンター 音楽堂 ◇入場者数 185人	木のぬくもりを感じるマリンバに、茶碗や湯呑といった日用品から生まれるファンタジーな音色をピアノがやさしく包み込む、奇跡のアンサンブルを楽しむコンサートを開催。演奏しながらの練り歩きや食琴演奏体験など、トークやパフォーマンスで観客の心をつかみ、観客も手拍子や手作り楽器で参加する、一体感を感じるコンサートとなった。
	音楽ワークショップ 「ピアノを解体してみよう 調律体験」 ◇令和5年8月11日(金・祝) ◇スイトピアセンター 音楽堂・スイトピアホール ◇参加者数 17組38人(2回)	音楽堂のスタインウェイとベーゼンドルファーを間近で見学し、ピアノの仕組みを学ぶワークショップを実施した。スタインウェイを少しずつ分解し、部品の役割や構造を、調律師の解説とともに学んだ。スイトピアホールでの調律体験では、1人ずつ順番にハンマーを手には、実際に音が変わっていく様子を体験した。
舞台事業	舞台ワークショップ 「バックステージツアー」 ◇令和5年8月17日(木) ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇参加者数 31人(3回)	事業団職員が司会・講師となって文化ホール及び音楽堂の舞台裏を紹介する体験型ワークショップ。 参加者の中には、令和4年開催の「ぶたいうら たんけんたい」に参加された親子連れもあり、前年とは違う内容のホール紹介ということもあって、好意的な意見をいただいた。
	アキラボーイとタヌキチくんのデジタルショー ◇令和5年5月13日(土) ◇スイトピアセンター 音楽堂 ◇参加者数 238人	スクリーンを使ったデジタルショー。子どもの興味を惹くプログラムを、観るだけでなく、全員がステージに上がって体験できるショーを実施した。 関連事業として、市都市計画課との共創事業「スイトピアテラス」を文化公園で初開催。アキラボーイも登場し、館内全体を楽しんでもらえる場を作った。

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
美術事業	春季企画展 「ハローキティのワンダーランド」 ◇令和5年4月1日(土)～5月7日(日) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 3,458人	春休み～ゴールデンウィークに、錯視や鏡、音、匂いなどを使ったさまざまな不思議を楽しむ体験型展覧会を開催した。子どもだけでなく大人も、とまどったり仕掛けを考えたりしながら、親子で話し合う姿があちこちで見受けられた。不思議の国のアリスをモチーフにしたアリスキティの撮影スポットやグッズの販売コーナーもあり、ゴールデンウィークは例年になく賑わいとなった。
	夏季企画展 「ウルトラ空想特撮ワールド」 ◇令和5年7月15日(土)～8月31日(木) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 15,690人	半世紀以上続く「ウルトラマンシリーズ」の展示物を通して、親子3世代が共にワクワクするような機会を創出し、夢見る楽しさとクリエイティブな感性の創造を目指した。 ウルトラマン(1966)、ウルトラマンティガ(1996)、ウルトラマンデッカー(2022)と、時代をこえた作品の台本や小道具が多数展示され、来場者が夢と空想の世界を楽しめる企画展だった。
事業経費		38,778,421円(事業共通経費を含む)
諸経費		30,630,260円(人件費)
総費用額		69,408,681円
事業収益額		67,043,441円(雑収益、指定管理料を含む)
助成金・補助金・協賛金		0円
総収入額		67,043,431円

#### 4. 学習館科学施設運営事業

事業名	事業内容
こどもサイエンスプラザの運営事業 ◇入館者数 101,018人	学習館科学施設3施設「こどもサイエンスプラザ」、「コスモドーム(プラネタリウム)」、「水のパビリオン」の管理運営事業。
コスモドームの運営事業 ◇入場者数 18,254人	
水のパビリオンの運営事業 ◇入場者数 117,884人	
総費用額	25,120,129円
総収入額	22,541,864円

#### 5. 貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 4,115回 市民会館                  7,133回	文化会館・学習館及び市民会館の貸館事業。
陶芸窯利用認定講習会 ◇令和5年10月15日(日) ◇スイトピアセンター 学習室3-5、窯場 ◇参加者数 13人	利用者に陶芸窯の安全な取扱いを理解していただくための講習会を開催。 <利用認定期間 3年>
総費用額	268,111,952円
総収入額	249,536,617円

<収益事業等>

(収1) 公益目的事業以外の貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業以外の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 231回 市民会館 270回	文化会館・学習館及び市民会館の貸館事業。
総費用額	9,727,233円
総収入額	13,882,007円

(収2) 専用駐車場の管理運営事業

事業名	事業内容
スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業 ◇駐車利用台数 164,232台	スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業。
総費用額	17,875,272円
総収入額	33,678,214円

(他1) スイトピア友の会事業

事業名	事業内容
スイトピア友の会事業 ◇会員数 一般会員(612人/688口) 法人会員(40社/42口)	情報誌「スイトピア・ドロップス」を年4回発行し、会員への情報発信を随時行うとともに、会員サービスとして、チケットの先行予約・割引、協力店での特典利用を実施した。
総費用額	2,362,208円
受取入金	1,494,000円
総収入額	3,377,000円

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。